

人材バンク “魅学” プログラム例記入書

登録者名 (団体名) 伊藤 千恵子

プログラム名	家庭教育講座・青少年健全育成講座		
プログラムのねらい	乳幼児期から発達全般での保護者の関わり方、発達障害、ネット依存 青少年健全育成のための少のヒントに「おまぼ」と思える		
講座名・テーマ 学習分野等	学 習 内 容 等 ( 具 体 的 に )	時間数 (分・時間)	備 考 (備品等)
乳幼児期から 思春期までの関 わり方	脳の発達から見た子育てのポイント。 思春期と一家の成長期ととらえる考え方		
発達障害	発達障害は「支援と理解が 大切なのは個性・特性」ととらえる 関わり方	各約 60~90分 (要望に 応じず)	内容・時間 等々、各々の 要望に 応じず 使用可教材
メディア依存	世界がどのように設立したかのメディアが 困った存在に陥っていませんか 共に考えよう		材(原本等) は用意し ず
青少年健全育成	自分の胸の内を誰にも話せず 自傷行為等にはいつまでも 親子で、教育者等で理解しよう		
性別違和	自分の感覚に「とまどいを感じ ているけれど、誰にも話せず」 苦しんでいる生徒を理解して いよう		